



モバイルコンテナ

SDACT - 5073OP**

SDACS - 5073OP**

MKACT - 5073OPB

MKACS - 5073OPB

MKACS - 4573SF2**L(R)

モバイルカウンター

MKACS - 6073SF2**

取扱説明書

据付工事説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意	1～2
・各部の名称	2
・ご使用に際して	2～6
・お手入れ方法	7～8
・アフターサービスについて	8

据付工事説明書

・安全上のご注意	9
・キャスターの取付け	9
・製品寸法図	10
・据付け後の点検・清掃	裏表紙


取扱説明書

安全上のご注意



必ずお守りください


ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



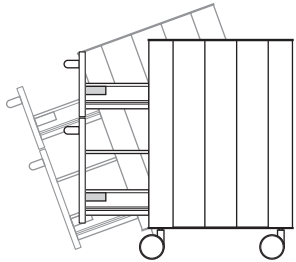


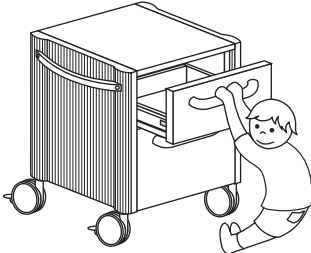

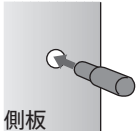


■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
---	--

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

 **注意**

<p>棚板、引出しには、指定の荷重以上のせないでください。</p>  <p>のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。</p>	<p>全ての引出しを引出した状態にしないでください。</p>   <p>本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。</p>
<p>ガラス扉に強い衝撃を与えないでください。</p>  <p>ガラスが割れて、ケガをする恐れがあります。</p>	<p>とって 把手や引出しにぶら下がらないでください。</p>   <p>把手や引出しが外れて、ケガをする恐れがあります。</p>
<p>棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。</p>     <p>棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。</p>	

モバイルコンテナやモバイルカウンターの上に乗ったりして、お子様を遊ばせないでください。



すべり落ちてケガをする恐れがあります。

ハンドルを持ってユニットを持ち上げたり、無理な力を加えないでください。

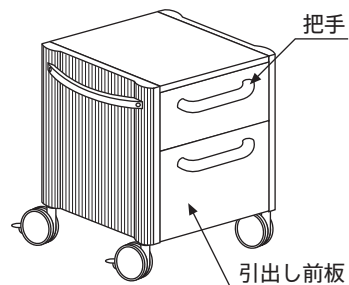
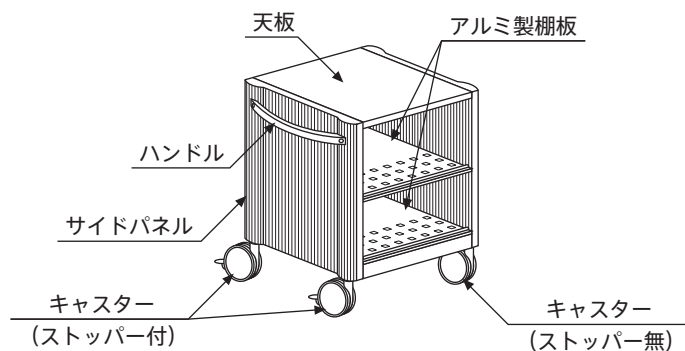


破損やケガの原因になります。

各部の名称

SDACT - 5073OP**
SDACS - 5073OP**
MKACT - 5073OPB
MKACS - 5073OPB

MKACS - 4573SF2**L(R)
※図はLを示し、Rは図と対称とする。
MKACS - 6073SF2**



ご使用に際して

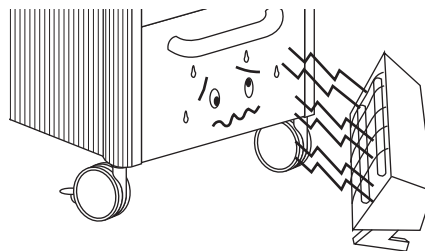
1. 弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、シンナー・ベンジン等は使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。



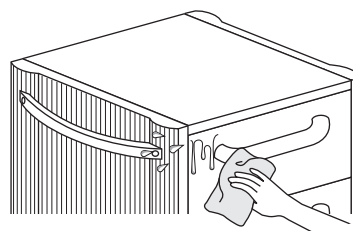
2. 高熱のものは近づけないでください。

ストーブ等を近づけると、引出し前板等の変形の原因になる場合があります。



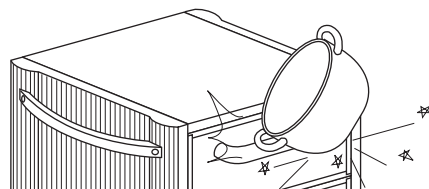
3. 水が付いた場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

ふくれ、剥がれの原因になります。



4. ガラス扉に強い衝撃を与えないでください。

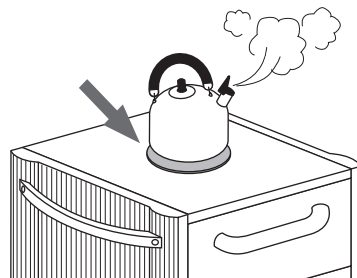
ガラスが割れる恐れがあります。



5. 天板

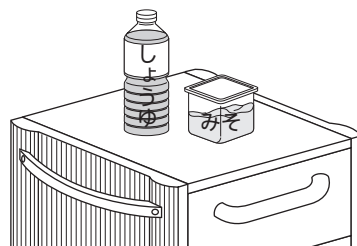
熱いやカンや鍋を置く場合は、必ず鍋敷き等をご利用ください。

跡が残ることがあります。



梅干し・漬物・みそ・しょうゆ等の汚れを放置しないでください。

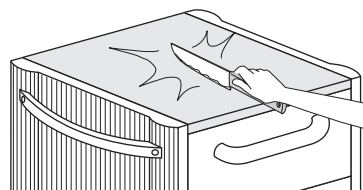
梅干し・漬物等の塩分で、表面の光沢が無くなる場合があります。



■人工大理石天板の場合

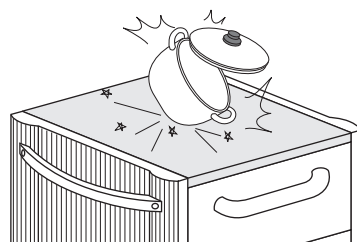
直接包丁を使わないでください。

ナイフや包丁等、鋭利なものを当てると表面が傷つきますので、ご注意ください。



強い衝撃は、避けてください。

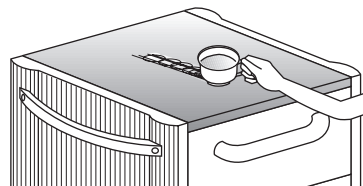
変形したり、傷がつく恐れがあります。



■ステンレス天板の場合

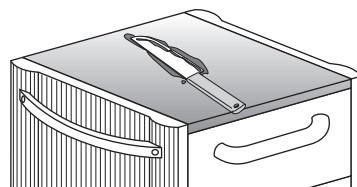
陶磁器等の摩擦にご注意ください。

陶磁器等の摩擦により、ステンレスに傷が付くことがあります。



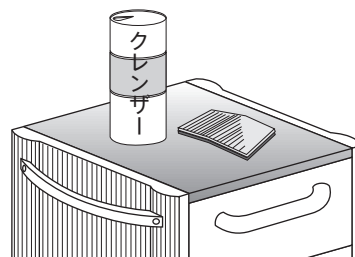
濡れた包丁、缶詰、ヘアピン等鉄製のものを長時間放置しないでください。

もらいサビの原因となることがあります。



粒子の粗いクレンザーやタワシ・金属タワシ・ナイロントワシは、使用しないでください。

ステンレスに小さな傷が付くことがあります。

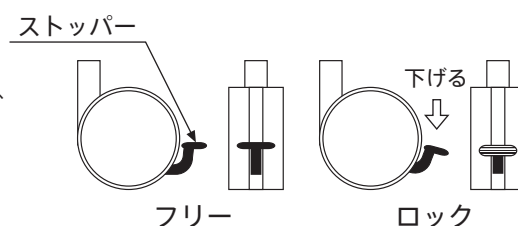


6. 表面が木質系、ビニル系、薄物のメタル系の床材でご使用になる場合は、モバイルコンテナやモバイルカウンターを移動させる際にキャスターの車輪の跡が付くことがありますので、十分ご注意ください。



7. キャスターのストッパーのご使用について

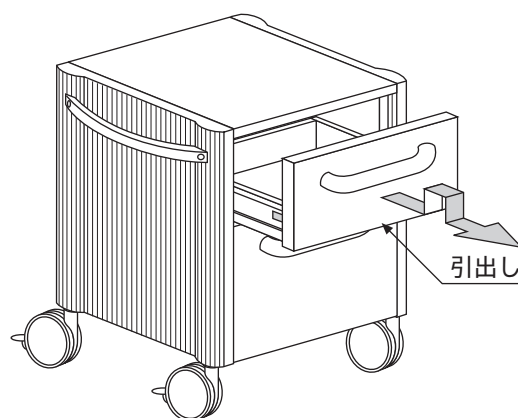
モバイルコンテナやモバイルカウンターを移動させる場合は、ストッパーをフリーにしてください。作業等をする場合は、ストッパーを必ずロックしてご使用ください。



8. 引出しの取り外し、取付け

[取り外し]

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



[取付け]

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。(図1)
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。(図2)
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。(図3)

図1

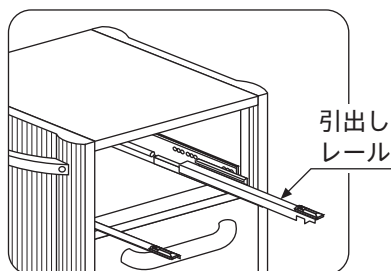


図2

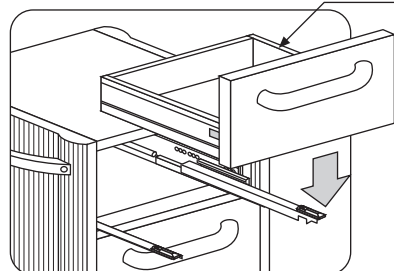
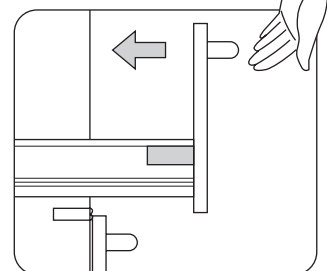
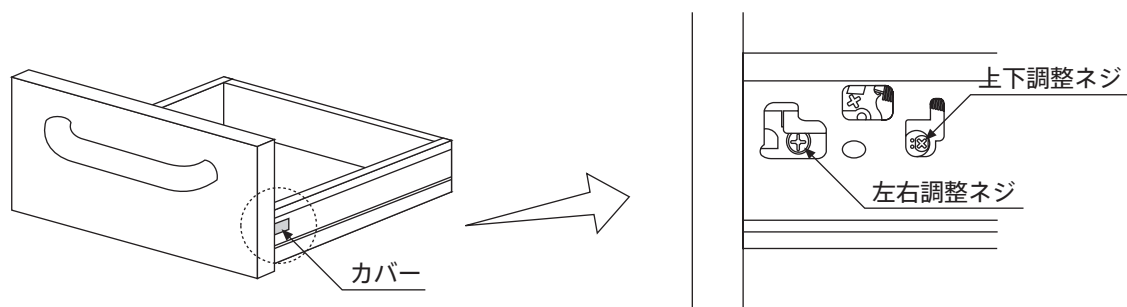


図3



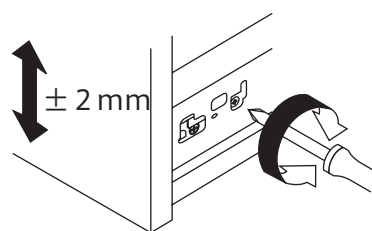
9. 引出し前板の調整方法

- ・引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



●上下方向の調整

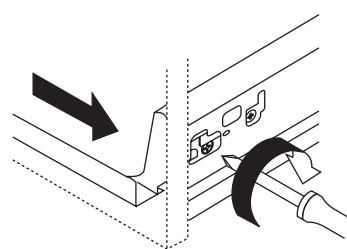
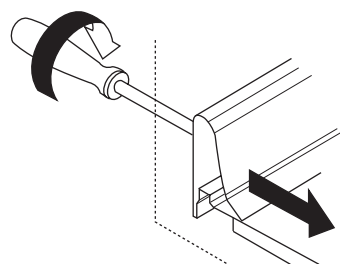
- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の上下方向を調整します。
- ・±2 mm調整できます。



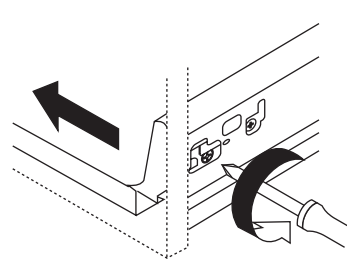
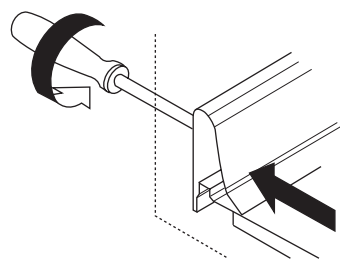
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・±1 mm調整できます。

右へ1 mm

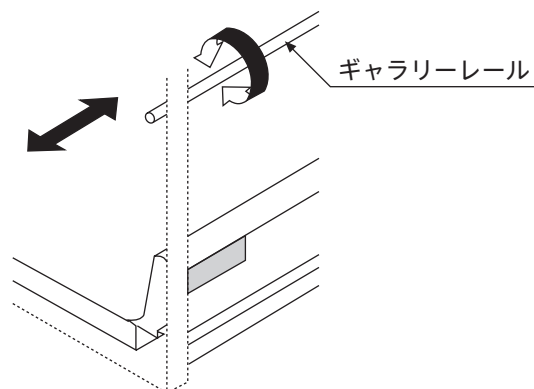


左へ1 mm



●傾き調整

- ※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



10. 耐荷重

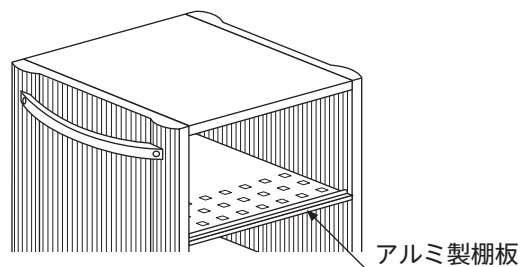
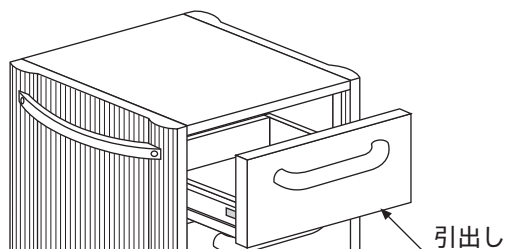
※ **5kg**・・・直径**20cm**のお皿**15枚**程度を目安にしてください。
※均等に物をのせた場合の耐荷重です。

引出し1段につき

15kg

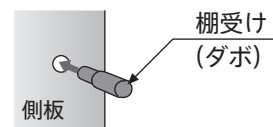
アルミ製棚板1段につき

15kg



11. アルミ製棚板の位置変え

アルミ製棚板は、お好みの位置に変えられます。
その際は、棚受け（ダボ）の位置も変えてください。



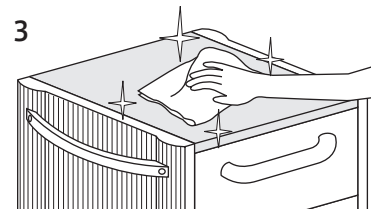
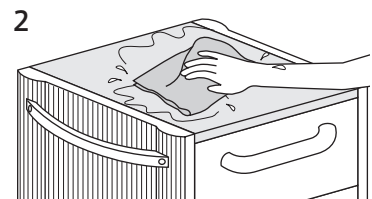
お手入れ方法

汚れは放置すると落ちにくくなりますので、ご使用のたびにお手入れを行ってください。
お手入れには、柔らかい布をご使用ください。

タワシやスポンジの裏についているスコッチブライト等は使用しないでください。
表面に傷が付きます。

■天板（人工大理石）

1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に台所用中性洗剤をつけて汚れを落とします。
2. 水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



【カームストーン】

※浅い傷の場合は、400～600番のペーパーでサンディングした後、スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨いてください。
深い傷の場合は、240番のペーパーでサンディングした後、600番のペーパーでサンディング、最後にスコッチブライトに中性洗剤をつけて磨いてください。

【アクアストーン・ゼリーストーン】

※浅い傷の場合は、400～600番のペーパーでサンディングした後、荒目のコンパウンドを使用して、バフ掛けをしてください。
深い傷の場合は、240番のペーパーでサンディングした後、600番のペーパーでサンディング、最後に荒目のコンパウンドを使用し、バフ掛けをしてください。

■天板（ステンレス）

※ご使用始めは、製品表面の黒ずみが付くことがありますが、お手入れを繰り返すとなくなります。

【日常のお手入れ】

1. 水を含ませた柔らかい布で汚れを落とします。
2. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



【油污れ】

1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布に台所用中性洗剤をつけて汚れを落とします。
2. 水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



【取れにくい、頑固な汚れのお手入れ】

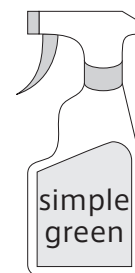
1. 水またはぬるま湯に浸した柔らかい布にクリームクレンザー（ジフ等）をつけて円を描くようにして汚れを落とします。
- ※ 強くこすらないでください。
2. 水を含ませた柔らかい布でクレンザーを拭き取ります。
 3. 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。



天板（ステンレス）用メンテナンス用品（オプション）

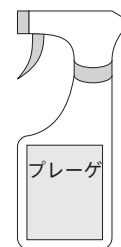
○シンプルグリーン（洗剤）

- ・通常のお手入れには30倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
 - ・油污れがひどい場合は、水で5倍程度に薄めたシンプルグリーンを吹きかけ、2～3分待ちます。
スポンジ等で汚れをこすり落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。
乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ※希釈率が濃すぎると、表面に洗剤成分が残り、白っぽくなることがあります。



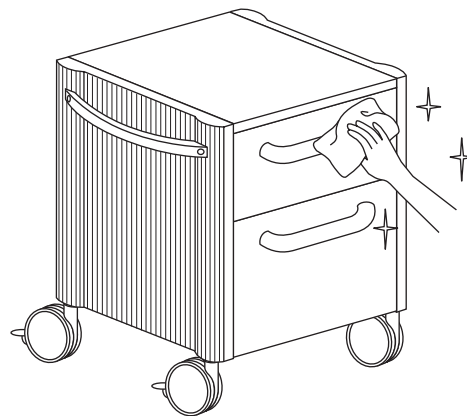
○プレーゲ（ステンレスチタン製品用コーティング剤）

1. プレーゲを塗布する前に水や中性洗剤等を使用して、表面に付着している汚れを落とします。
 2. プレーゲを塗布します。
（スプレー1回（約1cc）につき1平方メートルを目安）
 3. 乾いた柔らかい布で車のワックスを塗り込むように円を描きながら、プレーゲを十分に塗り込みます。
 4. 再度乾いた柔らかい布で、白いモヤモヤが無くなるまでから拭きします。
- ※ プレーゲを塗布しすぎると、白いモヤモヤが取れにくくなります。
※ プレーゲを使用する前に「シンプルグリーン」で油污れを落とすと、より一層効果が得られます。



■引出し、アルミ製棚板、本体

- 通常のお手入れは、水を含ませた柔らかい布で拭いた後、乾いた布でから拭きします。
- ※汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。



アフターサービスについて

- この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

・ご氏名 ・ご住所 ・お電話番号 ・お買い上げ日 ・異常の内容 ・品番

- 製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

据付工事説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

- 表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡りする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

注意

キャスターはサイドパネルに確実に取付けてください。



キャスターが外れて、ケガをする恐れがあります。

キャスターの取付け

- ・本体に傷を付けないようにダンボール等を下に敷き、背板側を下にして倒してください。(図1)
 - ・サイドパネルの下面についているキャスター取付金具にキャスターをしっかりと差し込んでください。(図2)
- キャスターのストッパー付、ストッパー無の取付箇所は、製品寸法図を参照してください。
- ・キャスターを取付け後、本体を持ち上げながら起こしてください。
- ※キャスターを軸にして起こさないでください。
破損やケガをする恐れがあります。

図1

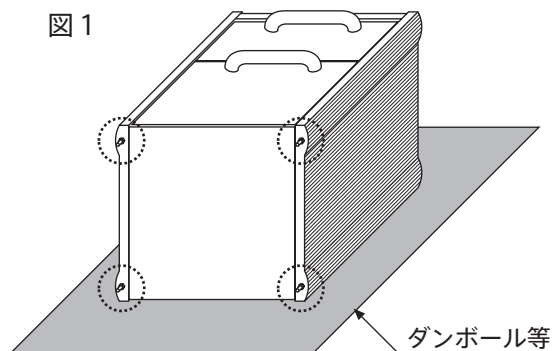
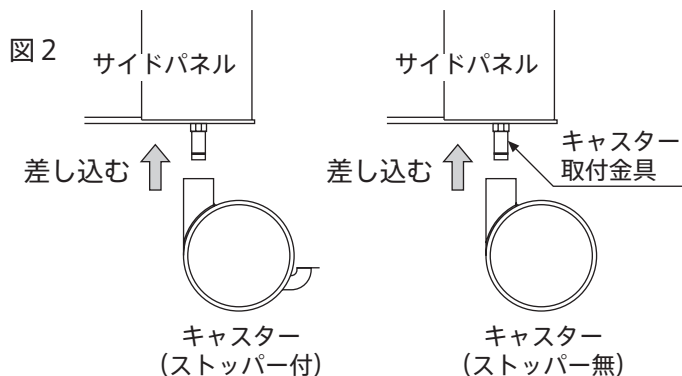


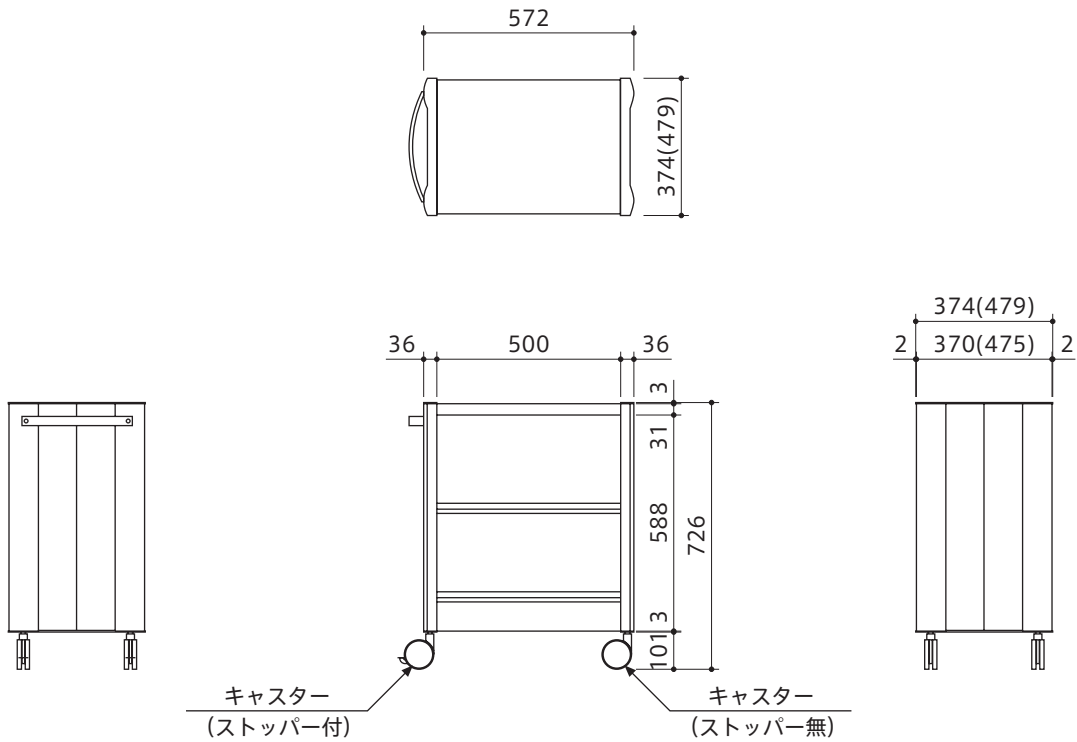
図2



製品寸法図

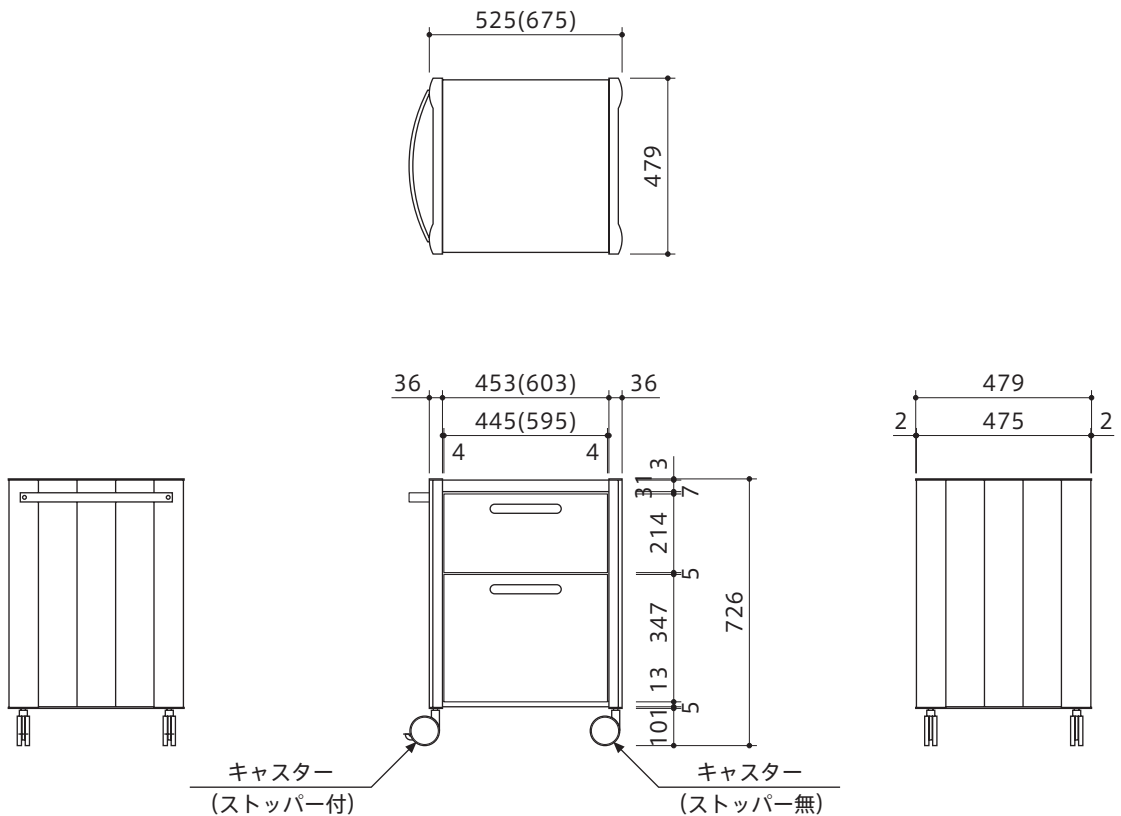
SDACT - 5073OP**
 SDACS - 5073OP**
 MKACT - 5073OPB
 MKACS - 5073OPB

※ () 内寸法は、SDACS - 5073OP**、MKACS - 5073OPBの場合を示す。



MKACS - 4573SF2**L(R)
 MKACS - 6073SF2**

※MKACS - 4573SF2**L(R)の場合、図はLを示し、Rは図と対称とする。
 ※ () 内寸法は、MKACS - 6073SF2**の場合を示す。



据付け後の点検・清掃

- ① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。